

平成29年度 港区政策評価シート

1 政策名・所管部門							
政策名	世界に開かれた先駆的で活力あるまちの基盤を整備する					政策No.	3
所管部	街づくり支援部	関係部	—				
2 展開する施策の評価							
						評価分布	
						S	0
						A	0
						B	5
						C	0
						D	0
3 主な施策の取組状況							
①	施策名	都心機能を支え人にやさしい道路・公園等の整備				評価	B
	成果目標			活動指標			
	誰もが安全で快適に利用できる道路・公園等が整備されている。			区道における電線類地中化率（区道延長全体223.461kmにおける電線類地中化の割合）			
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
	21.1%	22.1%	21.4%	21.6%	21.8%	未達成	
	施策の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 電線類地中化工事については、4か所の完了目標に対して3か所完了することが出来ましたが、1か所については関係者との調整により完了時期を遅らせたことから、未達成となりました。 五之橋の架替や一の橋公園の整備について、関係者との調整により着手時期を遅らせました。 都市計画道路や公園の整備、また、自転車走行空間の整備などは、予定通りに完了する見込みとなっています。 					
②	施策名	駅周辺の交通機能の充実				評価	B
	成果目標			活動指標			
	交通事業者等への、自由通路や駅前広場の確保の誘導により、駅周辺の歩行者のスムーズな流れが確保されている			駅前広場（交通広場）の整備計画決定駅数			
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
	2駅	4駅	3駅	3駅	3駅	未達成	
	施策の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 浜松町駅、田町駅、虎ノ門駅については、駅前広場の整備計画を策定することが出来ましたが、品川駅については協議を進めているものの、定める時期が遅れています。 浜松町駅については、東西自由通路の設計が進められています。 田町駅については、東西自由通路の設計に加え、駅前広場の工事に着手しています。 					
④	施策名	交通まちづくりの推進				評価	B
	成果目標			活動指標			
	地域交通のサービスの充実により、地域における交通環境が改善している			コミュニティバス等の乗客数			
	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況	
	3,793,619人	4,053,000人	3,947,056人	3,901,185人	3,900,000人	未達成	
	施策の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 青山ルートの日赤医療センターへの乗入れ、芝浦港南ルートと芝ルートのみなどパーク芝浦への乗入れ等、公共施設や生活利便施設への路線変更を実施しました。利用者数は概ね安定していますが、利用者目標に達しない見込みであることから、認知度の向上などに努める必要があります。 自転車シェアリングの利用向上に向け、近隣区との相互乗り入れを開始しました。利用実績が大幅に伸びていることから、区内全域にわたる自転車ポートの設置に向けた検討を行っています。 					

4 予算額・決算額・執行率（単位：千円）			
年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
予算額	7,442,737	8,234,319	8,473,643
流用・補正	16,793	17,616	—
決算額	6,788,101	7,873,713	—
執行率	91.0%	95.4%	—
予算・決算額の推移	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度の執行率については、契約不調により工事スケジュールを先送りしたことにより低くなっています。 		
5 政策を取り巻く社会状況等			
社会状況等の変化 ※基本計画策定時からの社会状況等の変化、国や他自治体の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 東京2020大会を控え、東京都では「都民ファーストでつくる新しい東京（平成28年12月）」を策定し、安全安心に向けた地震に強いまちづくりを推進しています。 無電柱化の推進策として、区は、国が検討している浅層埋設や小型ボックスの埋設を可能とする基準の緩和や低コスト手法、また、東京都が平成29年6月に条例化した東京都無電柱化推進条例の後押しを受け、電線類地中化の計画的な整備に向けて取り組んでいます。 また、駅周辺の交通機能の充実など、交通に関する区民の要望が増加している状況から、区は地域交通課を設け、取組を強化しています。 		
区民の意見等 ※区民アンケートや調査、区民から寄せられた意見等	<ul style="list-style-type: none"> 港区まちづくりマスタープランの改定に向けた区民意向の把握においては、基盤整備に関することとして、歩行空間の整備や交通バリアフリーなどへの期待が寄せられました。 第30回港区民世論調査では、交通の中で自転車対策に対する要望が多くあります。 		
6 一次評価（所管部門による評価）			
政策の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 道路や公園などの整備については、当初計画どおりに進んでいますが、利害関係者が多く、調整に時間を要する電線類の地中化や橋りょうの整備などについては、若干の遅れがみられます。 交通機能の充実については、自由通路や駅前広場の確保などに向けた都市計画決定手続きを進めるなど、交通事業者と連携しながら取組みを推進しています。 		
今後の方向性 重点的に取り組む施策・課題	<ul style="list-style-type: none"> 区民の安心安全で快適な暮らしを支えるまちの実現に向けては、多様な人々やニーズにきめ細やかに対応する必要があります。 今後は、未達成となっている事業を早期完了させるとともに、計画的に事業が進められるよう取り組む必要があります。 		
7 二次評価（港区行政評価委員会による評価）			
政策の達成度	<input type="checkbox"/> 十分達成しています <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成しています <input type="checkbox"/> 達成が不十分です		
	<ul style="list-style-type: none"> 活動指標「コミュニティバス等の乗客数」については、指標が目標に達していませんが、路線の充実、ルートの変更を行い、サービスを改善したことは評価できます。 自転車シェアリングについては、環境にも優しい取組であり、他区との相互乗り入れを行っていることは評価できます。 		
今後の方向性 重点的に取り組む施策・課題	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティバスや自転車シェアリングなど地域交通のニーズを十分に把握しながら施策を推進していく必要があります。 引き続き駅前広場、道路、公園の整備、電線類の地中化などを着実に推進していく必要があります。 		

施策① 都心機能を支え人にやさしい道路・公園等の整備

施策担当課	土木課	関係課	土木計画担当、地域交通課				評価 (S～D)	B	
成果目標	誰もが安全で快適に利用できる道路・公園等が整備されている								
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況			
区道における電線類地中化率（区道延長全体223.461kmにおける電線類地中化の割合）	21.1%	22.1%	21.4%	21.6%	21.8%	未達成			
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	区施行の電線類地中化整備事業、大規模開発事業者等による民間施行などを合算して電線類地中化率を算出しています。								
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業								
都市計画道路の整備 土木課									
1)	全体計画 目標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期（事業計画）				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30～32年度)
	3路線 道路整備 延長 1,658m	3路線 872m（継続）	3路線 872m（完了） 786m（継続）	計画	設計・整備等	設計・整備等	設計・整備等	1,480m (整備中) 178m (完了)	786m (整備中) 694m (完了)
	実績				1,224m (整備中) 178m (完了)	1,480m (整備中)	1,480m (整備中)	1,480m (整備中) 178m (完了)	—
遅延理由	—								
歩道の整備 土木課									
2)	全体計画 目標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期（事業計画）				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30～32年度)
	設置・改良 延長 86,548m	81,390m	5,158m	計画	設置・改良 1,276m 設計 1,552m	設置・改良 340m 設計 3,245m	設計 3,617m	設計（完了） 12路線 改良（完了） 1,470m 設置（完了） 146m	設計（完了） 12路線 改良（完了） 3,305m 設置（完了） 237m
	実績				設置・改良 1,140m 設計 7路線	設置・改良 189m 設計 8路線	設置・改良 370m 設計 14路線	設計（完了） 13路線 改良（完了） 1,519m 設置（完了） 144m	—
遅延理由	—								
歩車共存道路の整備 土木課									
3)	全体計画 目標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期（事業計画）				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30～32年度)
	整備区間 延長 4,435m	3,565m	870m	計画	設計：380m	整備：210m 設計：203m	整備：170m 設計：239m	整備（完了） 380m 設計（完了） 3路線	整備（完了） 490m 設計（完了） 3路線
	実績				設計：2路線	設計：1路線	整備：372m 1路線	整備（完了） 372m 設計（完了） 3路線	—
遅延理由	—								

電線類地中化の推進									土木課
4)	全体計画 目 標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期 (事業計画)				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30~32年度)
	工事 (完了) 10,409m	6,398m	4,011m	計画	設計：895m 工事：1,938m	設計：1,938m 工事：2,053m	設計：2,001m 工事：2,473m	設計中：5か所 工事中：5か所 完了：4か所	設計完了 6か所 工事完了 8か所
実績				設計：1,340m 工事：2,017m	設計：1,895m 工事：1,555m	設計：2,981m 工事：1,830m	設計中：4か所 工事中：5か所 完了：3か所	-	
遅延理由	工事1か所及び設計1か所について、道路埋設企業者（NTT、東京電力）からの要望に伴い設計等の見直しを実施したため								
橋りょうの計画的な整備									土木課
5)	全体計画 目 標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期 (事業計画)				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30~32年度)
	架替 完了4橋 工事中1橋 改良 完了4橋	工事中 2橋	架替 完了4橋 工事中1橋 改良 4橋	計画	架替 設計3橋 工事2橋 改良 設計1橋 工事1橋	改良 工事2橋 設計1橋	架替 1橋	架替 工事中1橋 設計2橋 完了2橋 改良 完了2橋 設計1橋	架替 設計完了1橋 工事完了2橋 工事中1橋 改良 工事完了2橋
実績				架替 設計2橋 工事2橋 改良 設計1橋 工事1橋	改良 工事1橋 設計1橋	改良 設計1橋	架替 設計1橋 完了2橋 改良 完了1橋 設計2橋	-	
遅延理由	橋りょう整備に伴う関係者協議（地元、漁協、JR等）及び河川、港湾管理者による護岸整備との調整により、工事スケジュールを見直したため								
自転車走行空間整備の推進									土木計画担当
6)	全体計画 目 標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期 (事業計画)				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30~32年度)
	整備25km	7 km	18km	計画	3 km	3 km	3 km	9 km	9 km
実績				3.5km	3.1km	3.7km	10.3km	-	
遅延理由	-								
都市計画公園の整備									土木課
7)	全体計画 目 標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期 (事業計画)				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30~32年度)
	用地取得 5件 整備2園	用地取得済 428㎡	用地取得5件 整備完成1園	計画	用地取得 工事2件	用地取得 工事1件	用地取得	用地取得3件 完了2件	用地取得2件 仮整備・設計
実績				用地取得1件 工事1件	用地取得1件	用地取得1件 工事1件	用地取得3件 完了2件	-	
遅延理由	-								

公園の整備									土木課
8)	全体計画 目 標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期（事業計画）				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30～32年度)
	整備4園	—	整備4園	計画	工事：1件	工事：1件	工事：1件 設計：1件	完了2園 設計中1園	設計2園 整備2園
			実績		工事：1件	設計：1件	完了1園 設計中1園	—	
遅延理由	整備を予定していた一の橋公園の整備について、隣接する古川の護岸整備を実施する東京都からの要望を受け、着手時期を遅らせたため								
児童遊園の整備									土木課
9)	全体計画 目 標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期（事業計画）				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30～32年度)
	整備3園	—	整備3園	計画	整備1園	設計1園	整備1園	整備2園	設計2園 整備1園
			実績		整備1園	設計1園	整備1園	整備2園	—
遅延理由	—								
快適な公衆・公園トイレの整備									土木課
10)	全体計画 目 標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量		前期（事業計画）				後期
					27年度	28年度	29年度	計	(30～32年度)
	建替7か所	—	建替7か所	計画	建替：2か所	設計：1か所 建替：2か所	設計：1か所 建替：1か所	完了：4か所 設計：2か所	設計1か所 建替3か所
			実績		建替：1か所	設計：1か所 建替：1か所	設計：1か所 建替：2か所	完了4か所 設計2か所	—
遅延理由	—								
地域特性にあった区道整備の推進									土木課
11)	達成状況	地元等との協議を重ねながら、その地域にあった整備を進めています。							
	課題	地元等との協議の中で様々な意見が議論されるため、整備方針を決めるまでに時間がかかる傾向があります。							
バリアフリー化の計画的な推進									地域交通課
12)	達成状況	港区バリアフリー基本構想に基づき、区民代表、事業者、施設設置管理者とともに「港区バリアフリー基本構想推進協議会」で5つの重点整備地区における事業等の進捗管理を行いながら、平成32年度を目標に計画的にバリアフリー化を進めています。							
	課題	既存施設のバリアフリー化について、整備基準を満足するためには建替えや大規模修繕の時期にしか実施できない場合があります。自然地形の高低により、円滑な移動が困難な経路等への適切なバリアフリー化の対応が求められます。							
案内標識の整備									土木課
13)	達成状況	東京2020大会開催に向け、道路標識については、多言語化等への対応に向け、現況調査を行い、改修を順次実施しています。また、観光街区案内標識についても、平成28年度からの3か年、新規に設置しています。							
	課題	観光街区案内標識については、地域の開発事業などによる地図情報の更新が必要になります。また、外国人旅行者を含めた来街者を目的地までの確に誘導できるよう、道路標識、観光街区案内標識ともに連携し、整備していく必要があります。							
地下空間の計画的利用の誘導									土木計画担当
14)	達成状況	再開発等を契機に、地下通路等で歩行者ネットワークを構築し安全で快適な歩行空間を目指しています。平成27年度に虎ノ門一丁目地区の再開発事業において、虎ノ門駅に向かう地下通路について、計画決定を行いました。							
	課題	民間施設として地下空間を整備する際の区道下に対する占用の取り扱いについて課題があります。							

		上下水道施設上部利用公園の整備	土木計画担当
15)	達成状況	平成27年度に芝浦中央公園の一部を拡張しました。	
	課題	芝浦水再生センターの再構築事業が長期に渡るため、事業達成までに時間がかかります。	
		小広場（ポケットパーク）の整備	土木計画担当
16)	達成状況	平成27年度に1か所、平成28年度に1か所の緑地を区に帰属を受けました。それ以外にも、開発事業者には民有空地を整備するよう指導・誘導しています。	
	課題	大規模な開発は、駅周辺や商業地区に集中し、住宅街での整備がなかなか進みません。	
		プレーパークの推進	土木計画担当
17)	達成状況	平成27年度は24回、平成28年度は35回プレーパークを高輪地区、芝浦港南地区及び麻布地区で開催しました。	
	課題	芝地区、赤坂地区でも開催できるよう指定管理者の活用も含め検討していきます。	
		低炭素社会に向けた整備	土木課
18)	達成状況	道路において、路面温度を低減させる舗装を平成27年度は9,531㎡、平成28年度は10,877㎡整備しました。また、道路照明の省エネ化に向けて、平成27年度は366基、平成28年度は419基のLED化を実施しました。公園においては、平成28年度に太陽光を動力源とする時計塔を1基設置しました。	
	課題	計画的に整備を進めていますが、東京2020大会に向けては、気温上昇による暑さ対策など、これまで以上に積極的に取り組む必要があります。	

施策②駅周辺の交通機能の充実

施策担当課	開発指導課	関係課	再開発担当、品川駅周辺街づくり担当				評価 (S~D)	B
成果目標	交通事業者等への、自由通路や駅前広場の確保の誘導により、駅周辺の歩行者のスムーズな流れが確保されている							
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況		
駅前広場（交通広場）の整備計画決定駅数	2 駅	4 駅	3 駅	3 駅	3 駅	未達成		
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	虎ノ門駅南地区において、地下鉄虎ノ門駅につながる地上及び地下の駅前広場が都市計画決定されました。（平成27年度）							
1)	J R 各駅の自由通路の整備						開発指導課	
	達成状況	浜松町駅北口東西自由通路及び田町駅東口自由通路の設計に着手しています。						
	課題	民間開発事業や駅舎改良事業との調整を行い、利用者の交通動線を確保する必要があります。						
2)	駅前広場（交通広場）の確保						開発指導課	
	達成状況	田町駅東口駅前広場の工事に着手しています。						
	課題	自由通路整備事業との工程調整を行い、円滑に事業を施行する必要があります。						
3)	地下鉄出入口周辺の地域広場の整備						開発指導課	
	達成状況	虎ノ門四丁目地区においては神谷町駅に繋がる広場を、虎ノ門駅南地区においては虎ノ門駅に繋がる地上及び地下の広場を整備する都市計画を決定しました。						
	課題	限られた土地で相応の広場を整備するには限界があるため、道路、公園等の上部や地下の利用を検討していく必要があります。						

施策③駐車施設の確保・整備

施策担当課	地域交通課	関係課	開発指導課	評価 (S~D)	B				
成果目標	違法駐車・放置自転車問題等の解決に向け、駐車場の整備が進んでいる								
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況			
区内自転車等駐車場本設収容可能台数	3,894台	5,091台	3,894台	4,611台	5,039台	未達成			
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	放置台数は近年減少傾向にあります。今後も、自転車等駐車場の設置を積極的に行い、放置台数の減少に努めていきます。								
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業								
自転車等駐車場の整備 地域交通課									
1)	全体計画 目標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量	前期(事業計画)			後期		
				27年度	28年度	29年度	計	(30~32年度)	
	整備13か所	6か所	完了7か所	計画	整備中3か所 設計2か所	整備中4か所 設計1か所	整備中4か所	完了7か所	検討
				実績	整備中3か所 設計1か所	完了3か所 整備中2か所	完了1か所 整備中1か所	完了4か所	—
遅延理由	一の橋公園は、公園内での東京都施工の古川調整池整備の遅れにより整備が遅れています。本芝公園は、羽田空港アクセス線構想の一つが整備に影響を及ぼすことが想定されることから、一旦中止しています。								
駐車場整備計画の策定 地域交通課									
2)	達成状況	都市の低炭素化の促進に関する法律に基づく駐車場の集約化に合わせて、駐車場整備計画に準ずる考え方の整理をして行く予定です。							
	課題	整備計画に準ずる内容について、関係機関と協議し内容を適切に調整していく必要があります。							
開発における駐車施設の指導・誘導 開発指導課									
3)	達成状況	都市開発諸制度を活用した大規模な開発計画(平成27年~29年に都市計画決定)において、自動車約3,840台、自転車約4,860台、自動二輪約340台の駐車施設を整備する予定です。							
	課題	旺盛な開発計画において、適切に駐車施設を設置していくことが求められます。							
駐車場の利用促進 地域交通課									
4)	達成状況	指定管理者の提案事業により、地域の商店等と協力し特定店舗の利用者の駐車場利用料金を減額するサービスを行い、利用促進に努めています。							
	課題	さらなるサービスの向上を検討し、より利用の促進を行っていく必要があります。							
自動二輪車駐車場の整備 地域交通課									
5)	達成状況	自動二輪車駐車場の整備予定の事業者に対し、東京都道路整備保全公社の自動二輪駐車場整備の助成制度を案内することで、整備の促進を図っています。							
	課題	自動二輪車駐車場を整備する事業者が少数であるため、効果的なPRが求められます。							

施策④交通まちづくりの推進

施策担当課	地域交通課	関係課	—				評価 (S~D)	B
成果目標	地域交通サービスの充実により、地域における交通環境が改善している							
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況		
コミュニティバス等乗客数	3,793,619人 (ちいばすのみ)	4,053,000人 (ちいばすのみ)	3,947,056人	3,901,185人	3,900,000人	未達成		
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	ちいばす利用者は、路線の充実、認知度の向上等により、概ね安定しています。							
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業							
1)	交通まちづくりの推進 地域交通課							
	達成状況	区内の交通を取り巻く大幅な環境変化や、高齢者対応等、新たな区民ニーズの多様化に伴う諸課題に対応するため、港区総合交通戦略の素案をまとめました。						
	課題	港区総合交通戦略に基づいて多岐に渡る施策を短期間で実施していくこと、交通不便地域の解消が必要です。						
2)	既存交通サービスの改善 地域交通課							
	達成状況	青山ルートの日赤医療センターへの乗入れ、芝浦港南ルートと芝ルートのみなとパーク芝浦への乗入れ等、公共施設や生活利便施設への路線変更を実施しました。						
	課題	路線変更による運行距離、運行時間、運行経費の増加に伴う利用者の減少と収支率の悪化です。						
3)	コミュニティバスの運行 地域交通課							
	達成状況	新たな公共施設の開設、新駅整備工事等により運行距離が延長されたことによる利用者の落ち込みはみられますが、概ね目標を達成しました。						
	課題	運行距離、運行時間の短縮等による速達性の改善が必要です。						
4)	台場シャトルバスの運行の支援 地域交通課							
	達成状況	5年間で黒字化が達成できなかったため、平成29年度から路線を統合し、運行事業者に運行経費と車両購入費を補助し、平成33年度までの黒字化を目指します。						
	課題	速達性の向上と田町駅東口経由による利便性の向上、利用者数の増加が必要です。						
5)	自転車シェアリングの推進 地域交通課							
	達成状況	利用実績が大幅に伸びています。平成28年2月から近隣区との相互乗り入れを開始し、現在は6区での相互乗り入れを実施しており、今後さらに広域化が広がる見込みです。						
	課題	区内全域にわたるポートの早期設置が必要です。						

施策⑤市街地再開発事業等諸制度の活用と支援

施策担当課	再開発担当	関係課	開発指導課	評価 (S～D)	B			
成果目標	市街地再開発事業等により、住環境や防災機能が向上した街づくりが推進されている							
活動指標	26(当初)	29(目標)	27(実績)	28(実績)	29(予測)	達成状況		
市街地再開発事業及び土地区画整理事業による整備面積と地区数	56.9ha 18地区	102.3ha 25地区	59.6ha 19地区	69.8ha 21地区	70.9ha 23地区	未達成		
活動指標の説明、達成状況に関する特記事項	耐火・耐震性に優れた共同建物への更新とあわせ道路公園等の都市基盤を一体的に整備する市街地再開発事業及び低未利用地集約や街区再編等により都市基盤の充実を図る土地区画整理事業の活動指標として、整備面積及び整備地区数を設定しました。これら2つの事業は、整備規模や関係する機関・地権者が多岐かつ膨大であることから、調整や合意形成が予定通り整わない事などを理由に平成27年度から29年度までの当初目標（再開発：7.0ha、5地区 区画整理：38.4ha、2地区 計：45.4ha、7地区）を下回る実績（再開発：6.3ha、4地区 区画整理：7.7ha、1地区 計：14.0ha、5地区）となっています。しかしながら、事業は着実に進捗しており平成30年度以降に新たな地区も加え成果を上げる予定です。							
No.	施策の推進のため取り組んでいる事業							
1)	市街地再開発事業への支援 再開発担当							
	全体計画 目標 (32年度末)	現 状 (26年度末)	必要事業量	前期（事業計画）				後期
				27年度	28年度	29年度	計	(30～32年度)
	18地区	継続4地区	18地区	計画	工事	工事	工事	完了：5地区 継続：4地区 完了6地区 継続7地区
			実績	完了：1地区 継続：3地区	完了：1地区 継続：3地区	完了：2地区 継続：3地区	完了：4地区 継続：3地区	—
遅延理由	関係機関との調整や権利者との合意形成に伴う事業進捗の遅延のため							
2)	関連区域の整備 再開発担当							
	達成状況	市街地再開発事業による街づくりの検討にあたっては、国、都及び区の各種上位計画に適合し、各総合支所や各部門が抱える行政課題を解決するよう、街づくり等に関する検討委員会での審議を経て、生活利便施設の整備等による地域貢献や適正な都市基盤整備を行うよう的確に指導・誘導してきます。						
	課題	都市計画決定以後であっても、変化する地域の課題や更なる適正な都市基盤整備に対応できるように取組む必要があります。						
3)	土地区画整理事業の活用 開発指導課							
	達成状況	現在、汐留地区、愛宕山周辺地区、品川駅北周辺地区及び浜松町駅周辺地区の4地区で土地区画整理事業を活用したまちづくりが進められています。						
	課題	地域の合意形成や権利調整、都市計画決定のスピードアップなど、事業を長期化させない工夫が必要です。増加する新規居住者への対応や良好な居住空間の実現など、土地区画整理事業後のまちづくりを住民参画により検討する必要があります。						
4)	市街地再開発事業等の評価 再開発担当							
	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度：新たなモデル地区を対象に、事後評価制度（素案）に基づく評価を試行しました。 平成28年度：パブリックコメントの実施を経て、事後評価制度を構築しました。 平成29年度：事後評価制度を公表の上、事後評価委員会を新たに設置し、制度運用を開始します。 						
	課題	今後、事後評価制度の運用について、PDCAサイクルを継続的に進め、社会情勢の変化への対応や評価の更なる充実のため、制度の不断の見直し・改善を図っていく必要があります。						